



Posture Device
SINGLE PATIENT USE ONLY
RPD 固定具
個別使用厳守

適応：

顎の下などに貼り付けた粘着導子を固定するための固定具。

使用方法：

1. 担当医師の指示及び使用者の治療計画に基づいて、RPD 固定具を装着脱してください。
2. 患者が理解できる手法や手段を用いて、RPD 固定具使用に関する説明を行ってください。
3. 快適な頭・頸部の可動範囲を特定してください。
4. 患者が RPD 固定具の硬さに違和感を訴える場合は、固定具を変形させることができます。変形する場合は、10～15° の範囲内で調整してください。RPD 固定具に装着しているパッドを取り外し、ヒートガンで熱してください。「S 字」曲線の中央、あるいは下部のみの特定の箇所に集中的に熱を照射して、患者がより機能的な姿勢保持ができる最適な角度に調整してください。顎を乗せる変形可能な顎プレートも装着時に不快がないか、また患者ののどにプラスチック部分が触れていないかを確認してください。変形完了後は取り外したパッドなどを再び取り付けてください。
5. 治療的に最適な角度であると共に、不快のない姿勢となるよう、青い固定ストラップを患者の頸部に巻き、面ファスナー部分で固定してください。
6. RPD 固定具の着用は、患者の耐久力や個々の状態などを加味しつつ、始めは短時間の着用から開始し、連続で使用する場合は、十分に注意をして着用時間を設定してください。
7. RPD 固定具を取り外した後は毎回皮膚を確認し、30 分以内に消失しない発赤が観察された場合は、販売元あるいは製造元へ連絡してください。RPD 固定具の着用時間の短縮や顎の下の台に配置するパッドの量を増やすことで、解決できることがあります。
8. RPD 固定具使用に関連する情報は全て記録してください。

洗浄：

パッドを取り外し、手洗いし、平らにしてタオルで水分を拭き取り、自然乾燥させます。プラスチック部分は面ファスナー部分を保護しながら、中性洗剤を使用して拭いてください。面ファスナー部分を絶えず保護しながら水洗いし、しっかりと乾燥させてください。乾燥したパッドは装着者の皮膚にプラスチック部分が直接触れないようにしっかりと指定箇所に注意して取り付けてください。

お問い合わせ先：

伊藤超短波株式会社

メディカル営業部

〒332-0017 埼玉県川口市栄町 3-1-8

TEL. 048 (254) 1012 (代) FAX. 048 (254) 1014

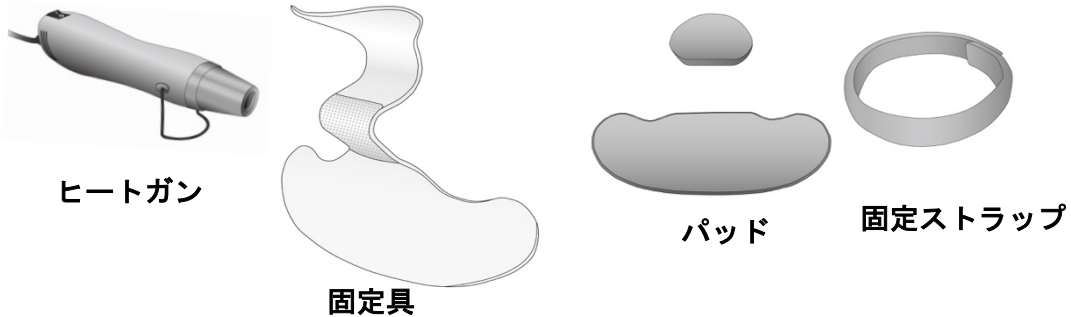
If you have question, please call your Ampcare Consultant or Ampcare @ 682-561-2444



Posture Device
SINGLE PATIENT USE ONLY
Instructions on Heat Molding

RPD 固定具
個別使用厳守
熱変形方法について

注意：RPD 固定具の変形時は、安全のために厚手の手袋を着用してください。
熱変形後はプラスチック部分が熱くなっています。

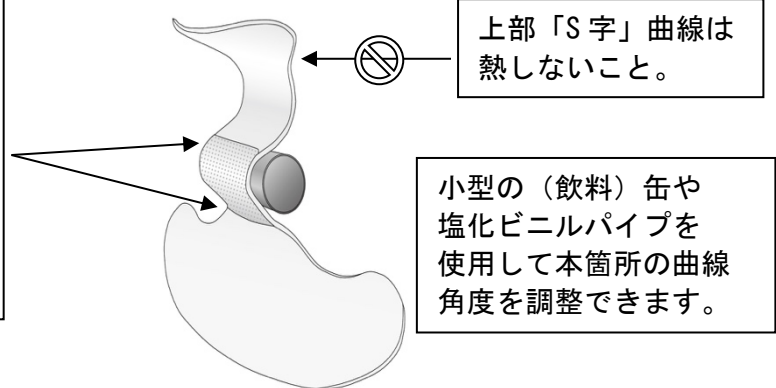


熱変形方法：

- 1) 熱変形を実施する前に、患者の顎の下に顎プレートを配置して、変形が必要か否かを判断してください。患者の顎は顎プレートの端より後方あるいは同一面上に位置していることを確認してください。
- 2) 熱を照射する前に必ず顎及び胸パッドと固定ストラップと面ファスナーを取り外してください。
- 3) プラスチック部分から 7~8cm 程度離れた位置から変形させたい箇所だけに、円を描くようにヒートガンを動かしながら熱照射してください。高さの調整は、「S字」曲線の中央、また胸部のプレート位置の調整は「S字」曲線の下部を熱してください。各部位の表面と裏面を 30 秒ずつ熱して変形してください。
- 4) パッドとストラップと面ファスナーは固定具が十分に冷めてから再度取り付けてください。
- 5) 熱変形した固定具を患者に装着して、再度適切な形に変形できたかを確認してください。

緩衝作用を保持するために、この「S字」曲線は保持しつつ、角度を調節します。
 高さを調整したい場合は「S字」曲線の中央、また胸部のプレートを調整したい場合は「S字」曲線の下部をピンポイントで変形させてください。

「S字」曲線の上部の角度は適切な抵抗になるよう調整されているため、熱しないでください。



長時間の連続装着禁止！

保証について：Ampcare 社は購入日から起算して 6 か月以内に本製品の材質あるいは細工に欠陥が確認された場合、その製品を無償で新品と交換します。交換の条件は製品が指定通りに使用された場合にのみ適応し、誤った使用方法や事故や不注意により生じた欠陥は除きます。
 欠陥が確認された場合、本説明書通りに RPD 固定具を使用したか確認してください。説明書通りに使用されていた場合は保証書と共にお近くの販売店へ領収書と共に製品をお戻しください。

米国特許： 7, 885, 713
 日本特許： 5153872